



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第17号
文責 校長 川口 貴晴
令和2年6月18日(金)発行



【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」

3年生進路説明会

17日(水)の1校時に、3年生は入試に向けた進路説明会を実施しました。進路担当の山口先生が、パワーポイントを使って丁寧に資料を作ってください、ととてもわかりやすい説明会でした。



説明会では、高校の種類や各校に設置されている学科、公立高校と私立高校の入試方法の違いなど多岐にわたって説明がなされました。わかっているようで、意外と勘違いしていたこともあって、大いに役に立つ説明会となったようです。特に、今年度から大きく変わる公立高校の入試制度に関する説明には、生徒の顔が一層真剣さを増し、生徒にとっても関心の高いことだということが手に取るように分かりました。保護者の皆様には、すでに公立高校入試変更に関する資料を配付しておりますが、気になることやお尋ねになりたいことがあれば、遠慮なく学校まで連絡下さい。進路コーナーも徐々に内容が充実してきました。生徒の皆さんは、どんな情報が掲示されているかアンテナを高く張って情報収集に努め、悔いのない受検をしてほしいと願っています。



受検はまだまだ先のことと思っている人もたくさんいるようですが、他校のライバルはすでにスタートを切っているかもしれません。受検のライバルは、あなたの隣に座っている吉井中の仲間だけではありません。佐世保市内・長崎県内のすべての中学3年生がライバルです。

今から、ここからスタートダッシュをかけた人が、来春に立派な花を咲かせることになるのではないのでしょうか。

受検にはフライングはありませんからね！
※進路説明会の様子は、本校HP「あしあと」にも多くの写真をアップしています。ご覧下さい。

研究授業がありました！

18日(木)6校時に、1年1組の教室で、養護教諭の指導による研究授業がありました。横山先生の実践授業の様子を、中野先生が撮影してくれました。授業は、1年生の学習内容に合わせたもので、生徒の理解を深めるための工夫が随分と見られました。先生方も真剣に取り組んでいました。授業終了後、先生方と生徒の間には、授業に関する質問や感想のやり取りが盛んに行われました。先生方も生徒の反応に敏感に反応していました。授業終了後、先生方と生徒の間には、授業に関する質問や感想のやり取りが盛んに行われました。先生方も生徒の反応に敏感に反応していました。



4週間、横山先生の実践授業が、先生方も生徒も慣れないことばかりで大変だったけれど、先生方も頑張っていました。先生方も生徒も慣れないことばかりで大変だったけれど、先生方も頑張っていました。先生方も生徒も慣れないことばかりで大変だったけれど、先生方も頑張っていました。

横山実習生からのメッセージ！



5月25日より4週間お世話になりました。保健室での対応や学習について学ばせていただきました。保健室で緊張しながら湿布を貼ったり、包帯を巻いたり、教室や廊下でみなさんと毎日「おはようございます」「こんにちは」とあいさつをしたり、校歌を久しぶりに歌ったりしたこと、保健の授業を行ったことなど、数多くの思い出ができました。ありがとうございました。

新プロジェクト始動

生徒会が、また新たな取組を始めました。な取組は、今度では、新プロジェクトは、次号で紹介！





「いいね！」の第12回目です。「いいね！」もどんどん続きます。それだけ吉井っ子が、頑張っているということです。「いいね！」「嬉しいね」

【いいね！81】3年2組男子：ある先生へ渡すものがあり、歩いていると「渡しときましようか」と声をかけてくれました。自分の担任の先生じゃないのに、渡してくれるなんて、優しい生徒さんですね。ありがとうございました。

【いいね！82】2年1組女子：金曜日に早退した生徒の給食着と配布物を、家を知っているからと持って帰って届けてくれました。友達思いの行動にうれしくなりました。



【いいね！83】3年1組全員：3年1組のみんなは、授業が始まる前の着席、黙想が全員しっかりできていて、さすが最上級生と感心しました。落ち着いた中で、時間通りの授業のスタート素晴らしい。前に出て、黙想の呼びかけをしっかり行う、係の人たちのおかげでもあります。3年1組みんなに、よし、いいね！

【いいね！84】1年2組女子：学習部に呼び掛けて、自学ノートを配ってくれました。

【いいね！85】3年2組全員：給食の時間の「いただきます」の前に、「食器を後から個人で返すのが増えていて、配膳員の方々に大変迷惑をかけているようだ。今日からは時間通りに一斉に返せるように協力してほしい。」と話しました。そのために、「まず時間内に食べきれないと思う人が量を減らし(多くても半分まで)、多く食べたい人は最初に山盛りにつぐのではなく、自分の分を食べてから時間内に食べきれぬ量のおかわりをするように。おしゃべりせず、無言でまず食べなさい。」と声をかけたところ、皆が守ってくれ、決められた時間通りに、しかも残菜もない状態で返却できました。とても気持ちよかったです。

【いいね！86】1年2組：男女数名：「窓を閉めて～」と頼むと、進んで閉めてくれました。(※指名したわけではなく・・・)

【いいね！87】3年2組女子6名：受検対策の問題集の見本と長机2台を3階まで運んでくれました。重いのにありがとうございました。よしっ！いいね！



ちょっとためになる話

近代文学に知らない字句を教わることが多い。詩人・萩原朔太郎の名高い随筆「冬の情緒」では、1行目から辞書のお世話になった。冬を〈人間の果敢ない孤独さを思はせる〉と書き出すのだが、寡聞にして〈果敢ない〉を「かかんない」と読んでしまった。どこか変なので調べてみると、「はかない」と読むことを知った。なるほど人間は果敢さを失うから、はかない思いをするのかな。と、勝手に解釈したのを思い出しつつ、ラグビーの福岡堅樹選手(27)の進路の報を聞いた。果敢な挑戦だろう。来春の医学部進学を決意したという。現役は続けるも五輪の7人制代表は断念する。少し残念だが、ラグビーも夢、医師となりケガをした人に寄り添うのも夢と、ひたむきに目標に向かう姿勢にうたれる。ここ何年もプロとしてリーグ出場や練習を続けながら、受験勉強にも手を抜かなかったそう。秋のW杯で見せたトライのように、大股でぐいぐいと突き進んでもらいたい。「はかない」にはあろうことか、人と夢を並んで立たせる〈儂い〉もある。この人のまっすぐな思いは語意を逆さまにしてくれそうな気がする。



6月16日付読売新聞「編集手帳」より

第1回テストを終えて

中学校生活で初の定期テストに臨んだ1年生の感想です。いろいろな思いが伝わってきます！

◆今日は、数学と英語のテストが帰ってきました。2つとも予想以上に悪かったです。でも、それをそのままにせず、やり直しを何度もして、次のテストでも間違えないようにします。

◆今日と先週の定期テストの結果はところどころちょっとしたミスがあったので、そこさえ直せば必ず上がっていくと思います。



◆今日は部活がありませんでした。なので、テストのやり直しプリントや自学ノートがすぐに終わりました。そして今日、テストがすべて返され合計●●●点でした。最初は450点ぐらい取れるかなあとと思ったら、全然違ってビックリでした。次は450点いくように頑張ります！

